

新しい発見がいっぱい

朝霞市男女平等推進情報紙

イクメンデビュー してみませんか？

No.27
よかぜ
2011.9月号

イクメンとは、「子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと」です。しかし…やってみたくても、「時間が無い!」「自信が無い!」という方もきっといるはず。せっかくパパになれたのだから…まずやれることから始めてみませんか!? 家族の会話も増えて、子どもとの絆もきっと深まるはず♪



もくじ

特集 新しい発見がいっぱい
イクメンデビューしてみませんか？

最近考えたこと / BOOKコーナー / 女性総合相談 / DV相談
いろいろ情報 / 「そよかぜ」企画・編集委員です / 編集後記

育児・介護休業法の改正について

平成22年6月30日に改正育児・介護休業法が施行され、父親が育児休業をとりやすくなりました。主なポイントは以下のとおりです。

- ①父母がともに育児休業を取得する場合、1歳2ヶ月までの間に、1年間育児休業を取得できます。
- ②父親が出産後8週間以内に育児休業を取得した場合、もう一度育児休業を取得できます。
- ③配偶者が専業主婦（夫）でも育児休業を取得できます。

ママ・パパへのプチインタビュー

.....ママへのプチインタビュー.....

40代 主婦

- ・出勤前にゴミ出しをしてくれる

40代 パート

- ・休日に子どもと買い物に行く。私（妻）が頼んだ品々はメモなしでも忘れず買ってきてくれるのがすごい！

30代 会社員

- ・休日に、ママでは相手ができない戦いごっこやダイナミックな遊びをいっぱいしてくれます。そんなパパが息子は大好きです。

30代 会社員

- ・パパには、子どもの入浴をやってもらえるとうれしいですね。ママも時にはゆっくりお風呂に入りたいときもあるので。あとは、普段手の行き届かない箇所の掃除をマメにしてくれるのでありがたいです。ママは毎日の業務の中でなかなか時間に余裕がないので…。どんどん育児に参加してほしいです。むしろたくさん家事をやってくれる方が助かるかも♪

.....パパへのプチインタビュー.....

30代 公務員

- ・普段は一緒にお風呂に入ったり、食器を洗ったり、公園に散歩に行ったりしています。母ちゃんが仕事のときや、遅くなったときには料理もします。

30代 会社員

- ・育児は自分主導ではいかないので本当に大変。わからないことはばかりです。

30代 会社員

- ・子どもの成長はあっという間。目を離れたすきに知らない面がいっぱいになります。子どもの成長とともに私たち大人も教えられることがたくさん。子どもの成長と同時に自分自身も成長できますよ！

新しい発見がいっぱい

イクメンインタビュー してみませんか？

育児する
イクメン & イクジイお



我が家のイクメンはこんなことをしています!!



イクメン
 年齢：30歳
 職業：自営業
 家族構成：本人、妻、
 息子2人
 子どもの名前：康太、寛大

- ①2年
- ②保育園送迎、お風呂、おむつ交換、炊事、洗濯、掃除など、できることはなんでもやります。
- ③子育ては大変だけど、とてもやりがいがあり、大切なことだと思います。
子どもの成長に喜びを感じます。
- ④「ありがとう！」
- ⑤夫の育児、家事への参加が家族円満には大事なことです。

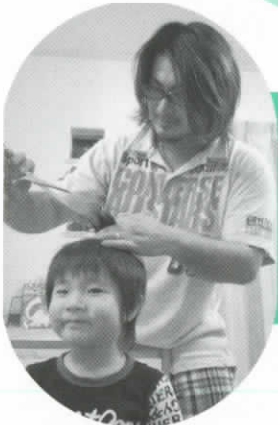


イクメン
 年齢：45歳
 職業：会社員
 家族構成：本人、妻、
 娘2人
 子どもの名前：春花、美月

- ①10年
- ②夕食作り、洗濯物の取り込み、片づけ、子どもとお風呂に入る。
- ③イクメンは子どもも巻き込んで楽しく行うことで家族の団結につながります。家事の大変さを実感。
- ④「ありがとう。」「助かるよ。」
- ⑤積極的に家事をすることで、父親の存在感を楽しくアピールしましょう。

インタビューの項目

- ①イクメン（イクジイ）歴
- ②どんな育児・家事を主にやっていますか？
- ③イクメン（イクジイ）をしてみてもったこと、感じたことは？
- ④妻（周囲）から言われて嬉しかったことは？
- ⑤これからイクメン（イクジイ）になる人へのメッセージ
- ⑥その他



イクメン
 年齢：32歳
 職業：美容師
 家族構成：本人、妻、
 息子
 子どもの名前：空我

- ①4年
- ②寝かしつけ。仕事が休みの日は、妻と一緒に幼稚園の送り迎えをしたり、一緒に遊んだりします。
- ③子育ては大変だな。自分の親に感謝しないといけない。父には、家族を養っていた経済力を感謝、母には、3人もの男兄弟を育ててくれたことに感謝。
- ④日常的に自分を立ててくれていて、子どもに「パパが一生懸命働いて稼いだお金で買ったものを大事にしなくてはいけないよ。」と言い聞かせてくれている。
「ありがとう。」
- ⑤子どもが生まれた瞬間から、「自分のプライベートな時間」というのは「家族と一緒に過ごす時間」だと考えています。
- ⑥子どもと対話していくうちに、仕事上でも相手を説得できるような、理解してもらいやすい話のしかたができるようになりました。



イクジイ
 年齢：70～80代
 職業：なし

イクジイとは、「孫世代を育てる男性たちのこと」です。

すでにイクジイは天国に行ってしまいましたが、生前はこんな風に言っていました。

- ①産院から戻ってきてから2歳で保育園通いができるまで。
入園後は、保育園の送り迎え。
- ②母親が職場にいる時間、おばあちゃんと二人三脚で、ミルク作りから、オムツ交換、散歩（乳母車に乗せて）はもちろん、お風呂も入れました。
- ③リタイア後だから生きがいになった部分もあったかな！大変だったけど、孫のかわいさは格別なもの。ただその孫がだんだん自分から飛び立っていく時期はとても寂しかったね。
- ④「かわいいお孫さんですね!!」と言われるとうれしいし、自慢の孫だったよ。
- ⑤孫の面倒を見るのは、体力的には大変だったけど、自分の子どもとは違って余裕をもって見ていられたかな。子どもと一緒に生活することで、元気がもらえるよ！
- ⑥自分の子どもは女の子で、孫は男の子だったので、おまけの楽しみを味わえたかな!!

孫より

僕は小さいときに祖父母に育てられたけど、今まで節目節目に必ずこの2人に守られてきた気がします。
じいじ、ばあば、いつまでもありがとう!!



「夫の悩みは妻の小言?」

イクメンの講演会に行ってきました。年間三百ものセミナーをやっているNPO団体代表の方のお話です。

「育児参加してくれない」、「仕事の帰りが遅い」など。イクメンパパがいてくれたら…。
妻は、夫を育児参加させるために、いかにサポートしていくか考えましよう。家族は一つの舟に乗っていくようなものなのです。

温かい家庭への深い思いが伝わってきました。

イクメンの悩みは、もっぱら「妻が自分のやっていることを認めてくれない」こと。洗濯物のたたみ方一つで文句を言われ、オムツ替えでは拭取用ティッシュを使いすぎだと言われ、たびたびの小言でやる気がなくなる…。
以前の講演会でこんなこともあったそうです。もうすぐお父さんになる方から質問「イクメンになったら自分の時間はどうなるの?」。講師からの回答「君だけが学生気分はダメ。妻は24時間子どもと一緒にいるんだよ。育児する妻にも妻の人生があるんだから」。一方、妻の悩みの50%は夫のこと。

日本の課題、ワークライフバランス。男女がともに育児、仕事をすると、広く社会が見渡せ、お互いの思いやり次第で、とても見通しが明るくなる、ということも考えさせられました。

それにしてもパパ、お疲れでしょ。もう少し早く帰ってきてね。職場の方々もよろしくね。
(そよかせ企画・編集委員)



「イクメンで行こう!」



渥美由喜 著
(日本経済新聞出版社) 1,600円+税

著者の渥美由喜氏は、ご自身の育休体験を架空の「平均」一家を設定してストーリー形式で書いています。後半は職場復帰後、大変だった育休での体験がいかに役立ち、かつ自身を成長させてくれたものであったかを述べています。知らないうちに子育て期を通して、人間として成長させられていたんですね!!

今、イクメンデビューしようか迷っている貴男!!チャンスです。大いに期待して、デビューしてください。

女性総合相談

相談日：毎週木曜日
(祝日にあたる場合は前日・年末年始は除く)
時間：午前10時～午後3時
場所：市役所1階 市民相談室
問合せ：人権庶務課 男女平等推進係
電話：048-463-2697(直通)

DV相談 配偶者暴力相談支援センター

相談日：月曜日～金曜日
(祝日・年末年始は除く)
時間：午前8時30分～午後5時15分
場所：市役所3階 人権庶務課
相談方法：面接及び電話(予約不要・先着順)
電話：048-463-0356
※毎週火曜日(祝日の場合は月曜日)は、専門の相談員が相談をお受けします。
時間：午前9時～午後5時

◆個人の秘密は守ります。 ◆相談は無料です。

いろいろ情報

平成23年度

あさか女と男セミナーを開催します!!

連続講座「あさか女と男セミナー」をコミュニティセンターにて開催します。このセミナーは、一人ひとりがいきいきと生きていくことについて考えるセミナーです。今年度は「互いを認め合い尊重し合う社会とは」と題し、昨年に引き続きアサーティブトレーニングやDV、そして震災のこと等について学びます。ぜひ、お申し込みください!

日時	テーマ	講師
第1回 9/28(水) 午前10時～正午	キモチが伝わるといい関係① ～基礎編～	特定非営利活動法人アサーティブジャパン 矢田 早苗さん
第2回 10/5(水) 午前10時～正午	キモチが伝わるといい関係② ～実践編～	特定非営利活動法人アサーティブジャパン 矢田 早苗さん
第3回 10/12(水) 午前10時～正午	みんな違ってあたりまえ ～わたしもあなたも大切に～	WithYouさいたま事業コーディネーター 瀨山 紀子さん
第4回 10/19(水) 午前10時～正午	こんなこともDVなの?? ～加害者・被害者にならないために～	特定非営利活動法人湘南DVサポートセンター 理事長 瀧田 信之さん
第5回 10/21(金) 午前10時～正午	東日本大震災から みえてきたもの ～災害時の弱者について～	全国地域婦人団体連絡協議会事務局 浅野 幸子さん

会場：コミュニティセンター 定員：30人 対象：市民 保育：1歳以上就学前の幼児15人(要予約) *無料
*手話通訳をご希望の方は事前にご連絡ください。(9月21日まで) 申し込みは・・・朝霞市役所人権庶務課へ(☎048-463-2697)

「そよかせ」企画・編集委員です。

昨年に引き続き委員4人と新たに男女平等推進事業企画・運営協力員1人が意見交換を重ね、楽しく「そよかせ」の企画・編集をしています。男女が平等な社会をめざし、市民の皆さまに手に取っていただける情報紙をお届けしたいと思っております。皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております。



伊藤愛子 高麗暁子 中村徳子 山門千佳 渡邊綾

編集後記

子どもは玉だと、あらためて思いました。(トンボ) 一人で頑張りすぎないで一緒にできたらいいね。イクメンが当たり前の社会になってほしいと思います。(秋桜)



身近にまだまだ男女平等意識が行き渡っていないところもありますが、恥ずかしく感じました。男女が対等であることの素晴らしさを今回感じました。(つゆん) 家庭での幸せが日々の活力だと感じました。(ごんごん) 今回の改正でパパは育児休業を取りやすくなったと思います。夫婦で貴重な育児時間を共有し、お互いに成長できればよいですね。(ニッソーリ)